

## わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(9月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎  
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



### 『さっちゃんのまほうのて』

共同制作：たばた せいいち、先天性四肢障害児父母の会、  
野辺 明子 (のべあきこ)、しざわ さよこ / 偕成社  
受賞歴：赤い靴児童文化大賞 (1985)



人生一冊の絵本です。

この絵本から教えられたことは、素直に自分に向きあい、強く生きぬく心の強さを持つことです。

さっちゃんも団体生活の中で、積極的に行動しているのに差別的な言葉をかけられ、悲しんでしまいます。差別社会を一人一人が向き合い、平等な社会をつくらなければならないと強く思う。

また、東京パラリンピックの中で、日本史上最年少メダリストとなった山田美幸選手から、全国民は勇気と感動をいただいたことと思います。2年前に父親を亡くし、つらい思いをしたことでしょう。そんな逆境に屈せず夢に向かって努力する姿は中学生ながら本当に立派だと思います。

山田選手の座右の銘は“無欲は怠惰の基である”  
渋沢栄一の言葉です。

#### 内容のご紹介

障がいを受け入れ、前へ進んでいく女の子を描く『さっちゃんのまほうのて』

保育園や幼稚園へ行きはじめると、これまで家のまわりだけだった世界が一気に広がり、たくさんのお友だちと出会います。大きな子、小さな子、元気な子、おとなしい子。共同生活は、他者とのちがいを知り、自分を知っていく場でもあります。

『さっちゃんのまほうのて』は、そんな幼稚園のなかで、障がいをもった女の子が、あるときふとみんなと自分がすこし違うことを知り、やがてそれを受け入れ前へ進んでいく物語です。

参考文献：偕成社紹介文(矢祭もったいない図書館)